

令和7年度社会福祉法人静香会事業報告

○静香会

1. 外部・内部の経営課題への対応

(1) 外部の課題

①物価高騰への対応

光熱水費や食材費等の高騰が継続する中、予算の見直しや経費削減、調達方法の工夫等に取り組み、サービスの質を維持しながら適切な運営を行うことができた。

②福祉人材不足への対応

採用活動の強化や情報発信の充実、関係機関との連携強化により採用者数は増加し、特に中途採用者の確保が進んだ。また、職場環境の改善や処遇面の見直しにより離職者も減少し、人材の確保・定着に一定の成果が見られた。

③障害福祉サービス報酬改定への対応

各種加算の適切な取得に努め、安定した給付費の確保を図るとともに、処遇改善を着実に実施することができた。

(2) 内部の課題

①サービスの質の向上

- ・利用者・保護者の意見を踏まえた支援の見直しや、虐待防止に向けた体制強化に継続的に取り組んだ。
- ・ICT機器の導入・活用により、記録業務や情報共有等の効率化を進めた。
- ・防災対策や事業継続計画の見直し・強化に取り組んだ。

②人材の確保と育成

- ・人材確保については順調に推移しており引き続き取り組みを継続していく。
- ・人材育成については、研修計画に基づき外部研修への参加を促進するとともに、法人内研修や施設内研修において動画等を活用し職員全体の理解の統一と基礎的な知識の共有を図った。
- ・新たに人事評価システムの運用を開始し、評価の透明性向上や業務効率化に取り組んだ。

2. 令和7年度の目標に対する取組結果

(1) 支援・保育に関すること

- ・全施設共通の取組として、サービスの質および利用者満足度の向上、虐待防止に向けた取組の強化、サービスの自己点検と継続的な改善を掲げ、各施設において方針に基づいた実践を行った。
- ・ICT機器（AIボイスレコーダ・タブレット端末・インカム等）の活用を推進し、業務の効率化・省力化を図ることで、職員が支援・保育により専念できる環境整備を進めた。

- ・第三者評価項目を活用した自己評価を実施し、課題の把握と改善に継続的に取り組んだ。

(2) 人材に関すること

①職員の教育・育成

- ・人事評価システムを導入し、制度の定着に向けて全職員への説明や運用支援を行うとともに、個人目標の設定および達成に向けた助言・指導を実施した。
- ・外部研修については、等級 J 3 以上の職員を中心に複数回の受講を促進し、専門性の向上を図った。
- ・法人内研修および施設内研修においては、動画研修の活用等により実施方法を工夫し、職員全体の知識の共有と理解の均一化を図った。
- ・施設間交流研修を実施し、他施設における支援方法や業務の進め方を経験することで、視野が広がり新たな視点を得ることができ、支援の質の向上につながった。令和 7 年度は 4 名が参加し、いずれも別日程で 5 日間の研修を実施した。

【研修】

施 設 名	外 部 研 修		法人内・施設内研修
	講座数	延べ人数	講座数
悠 雲 寮	40 件	61 名	15 件
悠雲の家	5 件	5 名	13 件
ゆううん	24 件	39 名	38 件
ほほえみ&みのり工房	13 件	21 名	23 件
このはな保育園	40 件	47 名	10 件
ススミダス	23 件	41 名	27 件
本 部	7 件	7 名	8 件
合 計	152 件	221 名	134 件

主な研修内容

〈外部研修〉

感染症対策、事業者説明会、運営管理、会計・経理、BCP、第三者評価、権利擁護、防災・災害対策、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者・相談支援専門員資格取得研修、虐待防止、強度行動障害、発達障害、人材育成・定着、組織づくり、

コミュニケーション、接遇マナー、SNS活用、保育士キャリアアップ研修 等
 〈法人内・施設内研修〉

外部研修報告、感染症対策、防災対策、食中毒予防、AED訓練、嘔吐物対応、
 虐待防止、権利擁護、身体拘束等の適正化、成年後見制度、利用者支援、
 リスクマネジメント、安全管理、人事評価制度、規程類の変更、人材育成、
 ハラスメント防止、保育の質向上、不適切保育 等

②人材確保・定着の促進

- ・採用活動の強化やホームページ・SNS等による情報発信の充実、関係機関との連携強化により、特に中途採用者の確保が進み、採用者数は増加した。
- ・賃金設定の見直しや働きやすい職場環境づくりに取り組んだ結果、離職者の減少につながり、人材の確保・定着に一定の成果が見られた。

【職員の採用及び退職】

(令和7.4.1～令和8.3.31)

施設名	採用		退職	
	正規	非正規	正規	非正規
法人本部	0	0	0	0
悠雲寮	1	6	0	1
ほほえみ&みのり工房	0	2	0	2
ゆううん	0	0	0	1
このはな保育園	4	1	1	2
悠雲の家	0	0	0	0
ススミダス	1	1	1	0
合 計	6	10	2	6
	16		8	

【職員人数】

施設名	令和6年3月31日	令和7年3月31日	令和8年3月31日
法人本部	2	2	2
悠雲寮	35	35	41
ほほえみ&みのり工	11	14	15
ゆううん	6	7	6
ほほえみ&みのり工	11	14	15
悠雲の家	2	2	2
このはな保育園	22	22	26
ススミダス	12	13	15
合 計	90	95	107

【時間外勤務実績時間数】（令和 7. 4. 1～令和 8. 3. 31）

施 設 名	職員数 (月平均) 管理職除く	令和 7 年度 延時間数	月平均 延時間数	月平均 一人当時間数	主な理由
悠 雲 寮	39. 58	444. 10	37. 00	0. 93	利用者対応・感染症対応 事務業務
ほほえみ& みのり工房	13. 00	55. 45	4. 62	0. 36	新年度準備・イベント準備 利用者対応・会議・研修
ゆううん	6. 00	221. 20	18. 41	3. 07	協議会・研修会準備 利用者対応・計画作成
このはな保育園	23. 00	116. 45	9. 70	0. 42	土曜保育・保護者対応 書類作成・園児多く補助
悠雲の家	2. 00	10. 00	0. 83	0. 14	業務補助・利用者対応
ススミダス	13. 50	447. 25	37. 27	2. 76	活動準備・活動記録作 成・支援計画作成

【有給休暇取得率】

施 設 名	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
本 部	104. 69%	80. 6%	98. 75%
悠 雲 寮	67. 80%	81. 04%	78. 12%
ほほえみ& みのり工房	56. 45%	58. 70%	45. 69%
ゆううん	70. 20%	77. 50%	65. 70%
このはな保育園	64. 73%	37. 00%	34. 79%
悠雲の家	89. 58%	58. 90%	60. 00%
ススミダス	84. 57%	84. 04%	63. 83%

※ 厚生労働省「年次有給休暇の計算方法」より

$$\text{取得率} = \frac{\text{当年の取得日数（前年繰り越し分を含む）}}{\text{当年の付与日数}}$$

（３）地域に関すること

- ・地域における公益的な取組として、相談支援、生活支援、権利擁護支援、福祉教育、地域ネットワークづくり等を実施し、地域の福祉ニーズへの対応に努めた。
- ・南海トラフ巨大地震を想定し、防災対策の見直しや事業継続計画に基づく訓練の実施、備蓄品の整備等を進め、災害時の対応力強化を図った。また、地域防災の体制づくりに関する関係機関の会議に参加し、連携・協力体制の構築に努めた。

【地域における公益的な取組】

- ①地域の要支援者に対する相談支援
- ②地域の要支援者に対する配食見守り移動等の生活支援
- ③地域の要支援者に対する権利擁護支援
- ④地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供
- ⑤既存事業の利用料の減額・免除
- ⑥地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン活動
- ⑦地域住民に対する福祉教育
- ⑧地域の関係者とのネットワークづくり
- ⑨その他

施設名	地域における公益的な取り組み実施件数									
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	計
悠雲寮	0	0	1	0	0	0	6	9	1	17
ほほえみ& みのり工房	0	1	1	0	0	1	16	7	0	26
ゆううん	0	0	3	0	0	0	0	9	0	12
このはな保育園	0	0	3	0	0	0	0	10	16	29
悠雲の家	0	0	0	0	0	0	0	13	1	14
ススミダス	3	0	0	0	0	0	5	17	0	25
合 計	3	1	8	0	0	1	27	65	18	123

(4) 経営管理に関すること

- ・毎月の経営会議において、各施設・事業の実績を確認・分析し、法人全体の財務状況の共有を図るとともに、課題に対して迅速に対応し、計画的かつ効率的な事業運営に努めた。
- ・光熱水費や消耗品費の節減、委託業務やリース契約の見直し等により、コスト意識の徹底と経費削減を図った。
- ・報酬改定や制度変更に適切に対応し、各種加算の確実な取得に努めることで、安定した収入の確保と職員の処遇改善につなげた。
- ・会計士によるチェックおよび指導を法人内事務職員全員で受ける機会を設け、会計処理に関する知識および実務能力の向上を図った。
- ・新たな相談システム導入を検討したが、既存の「ほのぼの」を活用することとした。

3. 定例事業

(1) 理事会の開催

① 第1回 令和7年5月28日(水)

報告事項

第1号報告 理事長職務執行状況

審議事項

第1号議案 令和6年度社会福祉法人静香会事業報告

第2号議案 令和6年度社会福祉法人静香会各会計決算報告・
監事監査報告・社会福祉充実残額

第3号議案 令和7年度社会福祉法人静香会各会計第1次補正予算

第4号議案 社会福祉法人静香会経理規程の一部改正

第5号議案 各種契約の締結

第6号議案 定時評議員会の招集

第7号議案 理事・監事候補者の推薦

第8号議案 評議員選任・解任委員の選任

第9号議案 長泉町による指導監査の実施結果

② 第2回 令和7年6月18日(水)

第1号議案 理事長の選定

③ 第3回 令和7年11月18日(火)

報告事項

第1号報告 理事長職務執行状況

第2号報告 福祉はぐくみ企業年金基金の導入

審議事項

第1号議案 静香会駐車場新設工事請負契約の締結

第2号議案 積立金の目的外取り崩しおよび
令和7年度社会福祉法人静香会各会計第2次補正予算

第4号議案 評議員会の招集

第5号議案 社会福祉法人静香会規程類の改正及び制定

第6号議案 県による指導監査の実施結果

④ 第4回 令和8年3月19日(木)

報告事項

第1号報告 理事長職務執行状況

第2号報告 社会福祉充実計画

審議事項

第1号議案 令和7年度社会福祉法人静香会各会計第3次補正予算

第2号議案 社会福祉法人静香会規程類の一部改正

第3号議案 令和8年度社会福祉法人静香会事業計画

第4号議案 令和8年度社会福祉法人静香会各会計収支予算

第5号議案 会社役員等賠償責任保険契約の締結

第6号議案 第三者委員の選任

第7号議案 長泉町による財政援助団体等監査の実施結果

(2) 評議員会の開催

①第1回 令和7年6月18日（水）

報告事項

第1号報告 令和6年度社会福祉法人静香会事業報告

審議事項

第1号議案 令和6年度社会福祉法人静香会各会計決算報告・
監事監査報告・社会福祉充実残額

第2号議案 理事・監事の選任

②第2回 令和7年11月28日（金） 決議の省略

提案事項1 社会福祉充実計画

(3) 監事監査

① 中間会計監査

令和7年11月18日（火）悠雲寮応接室

令和8年3月19日（木）悠雲寮応接室

森本監事・杉山監事

② 令和7年度事業及び収支決算監査

令和8年5月21日（木）悠雲寮応接室

森本監事・杉山監事

(4) 苦情対応第三者委員会

① 令和7年7月17日（木） 苦情2件、要望4件 内容はHPに掲載

① 令和8年3月13日（金） 苦情2件、要望4件 内容はHPに掲載

(5) 県・町による指導監査

① 令和7年8月28日（木）

悠雲寮 障害福祉サービス事業者等の運営指導

指導事項 なし

② 令和7年9月2日（火）

このはな保育園 私立保育所等指導監査

指導事項 なし

③ 令和7年2月27日（木）

ほほえみ&みのり工房 長泉町による財政援助団体等監査

指摘事項 なし

(6) 職員の健康管理

① ストレスチェック制度を整備し、全職員にストレスチェックを実施した。（9月）

② インフルエンザ予防接種を全職員に実施した。（11月）

③ 定期健康診断を実施した。（夜勤のある職員は年2回、その他職員は年1回）

(7) 内部・外部コミュニケーション

【内部】

内 容	実 施 計 画	実 施 日	延べ回数
①管理職会議	月 1 回	4/21、5/19、6/19、7/23、8/21、9/26、10/10、12/15、1/20、2/18、3/25	11 回
②経営会議	月 1 回	5/19、6/23、8/21、10/20、12/15、3/5	6 回
③業務日誌	開所日	①の報告、人事関係、HP更新、防災関係、職員親睦会、労務関係、インフルエンザ情報、新型コロナウイルス情報、不審者情報等	随時

【外部】

内 容	実 施 計 画	実 施 日	延べ回数
①行政機関との話し合い	随時	4/9、8/19、1/21	3 回
②社会保険労務士による指導・相談	月 1 回	4/10、5/8、6/12、7/10、8/8、9/11、10/9、11/13、12/11、1/8、2/13、3/12	12 回
③公認会計士による指導・相談	8 月より 月 1 回	8/6、9/22、10/14、11/14、12/17、1/19、2/16、3/17	8 回

(8) 外部への情報発信

①新たなホームページを活用し、求職者や利用希望者に向けて、法人概要や各事業所の情報、採用情報等を整理し、わかりやすく掲載した。また、適宜内容の更新を行い、情報の充実に努めた。採用面接時の聞き取りにおいて、ホームページをきっかけに法人を知ったとの回答も多く、情報発信の一助となっていることがうかがえた。

②ブログ・フェイスブック・インスタグラム等の SNS を活用し、各事業所の活動や日々の取組みを随時発信した。特にインスタグラムについては、各施設において頻繁（ほぼ毎日）に発信を行い、親しみやすく楽しい内容が好評を得ており、法人の雰囲気伝える取組みとして定着している。

○悠雲寮

1. 目標に対する取り組み

(1) 支援に関すること

- ① 少人数のグループ外出の機会を増やし、楽しみを増やす。
利用者の自治会活動『しゃくなげの会』にて、利用者から外出の希望が多くあるので、少人数で外出の機会を増やす。
 - ・令和6年の年度末に利用者満足度アンケートを実施。外出の質問については写真やイラスト等を見てもらいながら詳しく聞き取った。
 - ・2ヶ月に1回は利用者の自治会を開催し、希望や感想を聞き取った。
 - ・令和7年度には再度確認を進め、希望が叶えられるようグループ分けを行ない外出を実施した。
- ② 虐待のない安全な場所で安心して生活していただくために、虐待防止・身体拘束適正化委員会、虐待防止会議、各棟の会議を有効なものにするほか、研修を重ね虐待防止に努める。
また、地域連携推進会議を開催して地域との関係を作り、サービスの透明化・質の確保を行って利用者の権利擁護・虐待防止につなげる。
 - ・毎月、法人内障害者施設間で虐待防止・身体拘束適正化委員会を実施し、各事業所間の報告や情報共有などを行なった。
 - ・悠雲寮内では毎月1回、虐待防止委員会を実施し、虐待防止・身体拘束適正化委員会の報告や、支援において不安な事や困っている事について意見を出し、解決をはかった。
 - ・毎月、支援に反映できるテーマを決めて研修を実施した。
 - ・悠雲寮内で虐待はなかったが、不適切な支援が1件あり、発覚の時点で動き、解決につなげた。
 - ・7/9 地域連携推進会議を開催。利用者、ご家族、近隣地区の方、役場福祉保険課、社協職員などに集まっていたき、施設の運営状況の説明、見学など行ない、意見交換した。
- ③ 無線機を導入したため、効率的な運用と業務改善を行うために、会議等で定期的に検討を重ね利用者支援に役立てる。
 - ・令和6年度に購入した無線機をより有効活用できるようにするため、日々の支援や敷地外での活動時以外に、防災訓練時に訓練課題とした。反省点を出し、改善を続けている。
- ④ 第三者評価項目を活用した定期的な自己評価を実施し、課題を明確化するとともに、支援内容や運営体制の改善を図る。

- ・毎月の会議で、継続して課題検討を行なった。改善されない場合はどうしたら改善できるか具体的にあげ、内容によっては期日を決めて取り組んだ。

(2) 人材に関すること

- ① 新人職員や経験年数が少ない職員が不安なく業務が行えるように、担当職員を配置し教育していくと同時に、必要なマニュアルの見直しを続ける。

- ・担当職員の配置を継続。担当者が不在でも困らないよう分担表を作成し実施した。
- ・教育状況が分かるチェック表を見やすい場所に掲示し、教育項目の教育が進むようにした。
- ・月1回は会議で進捗状況を報告し、確認し合える状況を作った。

- ② SNS を積極的に使用し内部の情報を外部に発信し人材確保につなげる。
外部研修を積極的に受講し、職員1人ひとりのスキルアップに繋げ、内部研修では支援に活かせるような研修を開催し、職員が安心して業務に取り組めるようにする。

- ・SNS では Instagram を平日毎日更新した。そこからの人材確保はあまり結びつかなかったが、ホームページの求人や、就職面接会などでの応募や問い合わせは手応えを感じる結果となった。
- ・外部研修は前年度より件数は少なかったが、内容は今の利用者状況に合ったものや支援に活かせる内容のもの、参加した事で自身の課題解決となったものなど、充実した研修受講となった。
- ・内部研修では、外部研修の共有や、支援の不安を解消するための動画視聴などを実施した。

- ③ 人事評価制度を正しく理解するために、評価者・被評価者とも研修を受ける。
コミュニケーションを充実させ、納得感の高まるフィードバックの場を提供する事で評価の納得感を高める。

- ・評価者、被評価者とも全員が法人内で同じ研修を受講し、正しい理解を深めた。
- ・上期、下期とも、評価者と被評価者で月に1回は目標に対する取り組み状況を確認し合った。フィードバックには時間をかけ、評価者、被評価者が納得できる状況を作った。

(3) 地域に関すること

- ① 見学、実習、体験、ボランティアなど、多く受け入れ、またイベント参加、外出など、積極的に行い地域と交流し公益的な取り組みをはかる。

【学生実習】

5月26日～5月30日	知徳高等学校	2年	2名
6月9日～6月13日	知徳高等学校	1年	3名
10月27日～11月7日	知徳高等学校	1年	1名

【体験】

11月5日～11月7日	伊豆の国特別支援学校	2年	1名
-------------	------------	----	----

【ボランティア】

業務内容	回数	延べ人数	備考
理容	12	36	沼津市内理容師有志
美容	6	16	Hair cut KAZO
サマーショートボランティア	1	1	8/4～8/7
不二聖心女子学院	2	14	奉仕活動・プレゼント
計	21	67	

- ② 事業継続計画の組織の見直しを行なった事で、新たな改善や見直しに繋げる。
定期的に事業継続計画に沿った訓練を行う事で、的確な判断から行動に繋がられるようにする。

防災倉庫を新しくするため、倉庫内の配置を見直し、備品を充実させる。

外部の情報等に意識を向け、必要な備品や活用方法について知識を得ると同時に必要な物を取り入れていく。

- ・2ヶ月に1回、法人内障害者施設間で防災委員会を実施、毎月1回、法人内障害者施設間で感染症対策委員会を実施。事業所間の情報共有や課題確認、課題解決に向けた話し合い、内部研修の確認などを行なった。
- ・事業継続計画書の見直しを進め最新版にした。
- ・防災倉庫が新しくなったため、整理して入れ替え、必要な備品をさらに購入した。

【実施した防災訓練】

4月	新人教育・災害用伝言ダイヤル171・スラック送受信
5月	消火放水訓練・地震想定防災訓練・地域防災無線定期通信訓練 災害用伝言ダイヤル171・スラック送受信
6月	地震想定防災訓練(BCP訓練)・災害伝言ダイヤル171・スラック送受信・防災倉庫確認・備蓄品確認
7月	防災トイレ設置訓練・発電機使用訓練・起震車体験・地域防災無線定期通信訓練・災害用伝言ダイヤル171・スラック送受信
8月	地震想定防災訓練・AED講習・災害伝言ダイヤル171・スラック送受信
9月	災害伝言ダイヤル171・スラック送受信・地域防災無線定期通信訓練
10月	障害者施設総合防災訓練(事業継続計画)災害伝言ダイヤル171・スラ

	ック送受信
11 月	煙体験ハウスを使用した煙体験・火災想定防災訓練・災害伝言ダイヤル 171 スラック送受信・地域防災無線定期通信訓練
12 月	夜間想定防災訓練・災害伝言ダイヤル 171・スラック送受信・防災倉庫確認・備蓄品確認
1 月	火災想定防災訓練・災害伝言ダイヤル 171・スラック送受信・地域防災無線定期通信訓練
2 月	災害伝言ダイヤル 171・スラック送受信
3 月	災害伝言ダイヤル 171・スラック送受信・地域防災無線定期通信訓練

(4) 経営に関すること

① 光熱水費の無駄を省くため、状況確認、見直し、以前との比較を続ける。

設備上の対策として施設内完全LED化工事を実施し、電気料および蛍光灯代の恒久的な削減を図る。

- ・毎月 1 回、会議で前年度と比較し使用状況を確認し合い、無駄な部分をなくしたり減らせるよう意見を出し合った。
- ・施設内の蛍光灯を全て LED 化した。

② 国や県の情報を正しくキャッチし、必要な申請を進めていく。定期的に近隣施設との連携を図る事で情報交換していく。

- ・必要な申請は随時書類を提出した。
- ・8 月に県による運営指導監査が行なわれ、改善指導事項はなかった。
- ・4 月と 2 月に近隣 5 法人が集まり、情報交換を行なった。

③利用率アップ

(ア) 施設入所

- ・定員 50 名に対して、男性 26 名、女性 23 名が利用。
- ・新規利用者 2 名、退所利用者 5 名。

(イ) 生活介護

- ・開所日数は月の日数マイナス 8 日を開所した。
- ・てんかん発作の薬調整のための入院や、重責発作と誤嚥性肺炎による長期入院、インフルエンザ感染後の意識レベル低下による入院など、前年度より入院日数が多かった。
- ・感染症による通所の閉所はなかった。

【生活介護利用者延べ人数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R6 年度	1431	1498	1431	1482	1496	1432	1496	1483	1496	1499	1301	1130	17125
R7 年度	1376	1417	1327	1396	1367	1299	1418	1285	1370	1383	1187	1370	16195

短期入所事業・日中一時支援

(ア) 短期入所事業：定員 6 名

- ・女性で長期間利用していた方が 7 月に入所となり、利用人数が減少した。
- ・7 月以降は、新規利用者や継続して利用される方がいた事で、さらなる利用低下はなかった。
- ・入所利用者が感染症に感染した時期は、受け入れを中止する事はなかったが、新たな感染を防ぐために状況を説明し、ご家族に利用の判断をしていただいた。何件か予約キャンセルがあった。

(イ) 日中一時支援：定員なし

- ・契約市町は長泉町、裾野市、三島市、御殿場市。
- ・入所利用者が感染症に感染した時期は、受け入れを中止する事はなかったが、新たな感染を防ぐために状況を説明し、ご家族に利用の判断をしていただいた。何件か予約キャンセルがあった。
- ・日中一時利用に慣れて、宿泊に移行された方もいたが、新規契約もあり一定数を維持できた。

【短期入所受入れ状況】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R6 年度	142	158	164	152	107	109	88	109	77	85	59	64	1314
R7 年度	83	86	102	63	69	75	60	57	64	64	67	63	853
実人数	10	13	12	10	11	12	12	9	12	11	12	12	136

【日中一時支援受入れ状況】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R6 年度	30	29	30	33	29	27	30	32	29	27	34	7	337
R7 年度	32	26	15	29	30	31	24	26	29	31	31	30	334
実人数	7	4	7	5	6	6	4	8	6	5	5	6	69

2. その他

①利用者の状況

生活介護 定員 60 名・登録者 67 名

施設入所 定員 50 名・登録者 49 名

②年齢内訳

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～	計
男性	0	2	3	2	13	5	1	0	26
女性	0	0	2	2	9	4	1	5	23
通所	1	4	3	8	1	0	1	0	18
計	1	6	8	12	23	9	3	5	67

※平均 50.5 歳（男性 51.0 歳 女性 59.0 歳 通所 39.0 歳）

※最高年齢 男性 66 歳・女性 81 歳・通所 65 歳

③障害支援区分

区分	3		4		5		6		計	
年・月	R7.4	R8.4	R7.4	R8.4	R7.4	R8.4	R7.4	R8.4	R7.4	R8.4
男性	0	0	1	0	3	4	25	22	29	26
女性	0	1	2	3	9	8	12	11	23	23
通所	0	0	3	3	4	3	11	12	18	18
計	0	1	6	6	16	15	48	45	70	67

※平均 5.5 （男性 5.8 女性 5.3 通所 5.5）

④日常健康管理の状況

	入所	通所
体重測定	毎月 1 回実施	4 ヶ月に 1 回実施
検温	毎日実施	毎日実施
口腔衛生	毎月 1 回実施	年度初めに実施
歯科検診	6/12	なし
インフルエンザ予防接種	11/6・11/10・11/17	9/3・9/5
利用者健康診断	9/3・9/5・9/9・9/12	11/11 感染症採血
内科嘱託医相談	毎月 1 回実施	なし
体調の変化	日々確認	日々確認

⑤入院状況

4 月	入所男性	肺炎
5 月	入所男性	肺炎
6 月	入所女性 入所男性 _M	認知機能低下 発熱からてんかん(重積)・肺炎
9 月	入所男性	てんかん(重積)
10 月	入所女性 入所男性 入所男性	脳血流低下・症候性てんかん てんかん(重積) 薬調整 てんかん発作頻発 薬調整入院
11 月	入所男性 入所男性 入所女性	てんかん(重積) てんかんによる転倒多く検査と薬調整 気管支肺炎
12 月	入所女性	インフルエンザ罹患し意識レベル低下
3 月	入所男性	鎮静過多で肺炎の懸念と介助量の増大にて

⑥日常生活

- ・感染症対策として、男性棟、女性棟、通所で空間を区切り活動はそれぞれで実施。利用者の状態をより早く深く把握できる体制を作った。
- ・利用者の高齢化により、体力や機能低下、新たな病気などの体調変化に早く対応できるようにするために、日々の引き継ぎや会議にて、状況報告や課題などを積極的に出しあった。状況に応じて早めに医療機関へ相談や受診を実施した。
- ・体力維持や機能維持を意識した活動を行うため、係内で話し合い、会議で意見交換を行なった。体力活動では、少しでも外で活動したり、楽しんで参加できるようなメニューを検討したり、取り入れられそうな教材を購入した。
- ・入所利用者の帰省、保護者と面会や外出などは、ほぼ制限なく実施できた。

⑦給食管理

- ・利用者の身体状況によって、超刻み食、刻み食、一口食、減塩食などの食事形態を提供し、体調によっては回復までお粥食を提供した。
- ・毎月、季節にあった行事食献立を提供した。

4月	悠雲寮 37 年祝献立・春の彩り弁当
5月	こどもの日祝献立
6月	じめじめを忘れたいメニュー
7月	土用の丑の日（うなぎ）
8月	暑さ対策メニュー
9月	敬老の日お祝い献立
10月	お月見献立
11月	秋の味覚たっぷりメニュー
12月	クリスマスバイキング・年越しそば
1月	おせち料理（1/1）・七草粥・鏡開き
2月	節分献立（恵方巻）
3月	ひな祭り献立
月 1 回	誕生日献立・喫茶（2 月はケーキバイキング）

【給与栄養目標量】 厚生労働省「食事摂取基準」より

<男性>

エネルギー	1800kcal
蛋白質	80 g
塩分相当量	7.5 g
鉄	11 mg
カルシウム	600 mg
ビタミン A	600 μ g

<女性>

エネルギー	1650kcal
蛋白質	70 g
塩分相当量	7.5 g
鉄	11 mg
カルシウム	600 mg
ビタミン A	600 μ g

3. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

補修箇所	支出費	備考
女性棟	158,890 円	エアコン冷媒ガス補充、アルミ伸縮フェンス取替、居室引戸修理、シャワー室鍵取り付け、カーテンレール改修
男性棟	435,600 円	アルミ伸縮フェンス取り付け、居室扉修理、居室電源改修、スイッチとコンセントカバー設置・トイレ便器蓋修理
さくら棟	93,060 円	換気窓取り付け
厨房	622,600 円	流し台上部改修、シンク内改修、流し排水修理
食堂	16,500 円	間仕切り補修
洗濯室	72,600 円	引戸修理、大型洗濯機修理
廊下	264,000 円	誘導灯電池交換、スプリングラー部品交換
その他	346,500 円	錠取替、循環ポンプ部品交換、汚水配管詰まり対応、合併浄化槽漏電ブレーカー交換

(2) 物品購入

	内容	支出費
固定資産登録	LED 工事(棟内・通所)	3,515,094 円
	厨房エアコン	682,000 円
	医務室エアコン	473,000 円
	倉庫4棟(保護者会より寄贈)	3,331,350 円
器具備品(男女通所)	ネッククーラー	75,460 円
	熱中症指数計3台	18,668 円
器具備品(男性棟)	一人掛けソファ2脚	119,980 円
	加湿空気清浄機	70,400 円
	一人掛けソファ3脚	186,570 円
	アルミ伸縮フェンス	12,690 円
	空気清浄機 2台	140,800 円
	1人掛けソファ2脚	119,980 円
	掃除機・掃除機紙パック	28,600 円
	夜勤室モニター、変換ケーブル	13,998 円
器具備品(女性棟)	一人掛けソファ3台	182,170 円
	音楽再生設備	18,480 円
	夜勤室モニター・モニターアーム・ケーブル	18,128 円
	非接触型体温計	20,691 円
器具備品(防災)	防災倉庫内棚	132,000 円
	折りたたみテーブル4台	47,968 円
	タープテント	33,596 円

	3つ折りアウトドアテーブル	37,848 円
	ガーデンベンチ 10 台	159,000 円
	ポータブル電源(事務所)、LED ランタン	77,725 円
	ポータブル電源(支援課)	71,800 円
器具備品 (厨房)	調理器具	92,103 円
	ベンチシェルフ(プレハブ 冷蔵庫内棚)	99,999 円
	L 型カード立て	11,000 円
	デジタルスケール 2 台	20,460 円
器具備品 (その他)	食堂ブルーレイディスクプレーヤー	38,500 円
	食堂外よしず	68,199 円
	散薬用トレイ6 個	56,166 円

○ほほえみ&みのり工房

令和7年度事業報告

1、部門目標に対する取り組み

(1) 支援に関する事

家庭・病院・各市町・嘱託医・相談支援事業所等と連携を図り、利用者一人ひとりの生活状況に配慮しながら、課題解決に繋がる支援に努めた。

①作業内容を工夫し、工賃アップを目指す。

作業ごとに目標売上を設定し、目標達成に向けて各所へ働きかけを行ったことで、全体的な増収に繋がった。特に焼菓子作業については、季節ギフトの売り上げが好調であった。SNSを活用したイベント出店や季節ギフト販売の告知、事業所内の作業風景の発信等により、多くの方に興味を持っていただく機会となった。また、購入者からの口コミや紹介を通じて事業所を知り、来店される方も多く見られた。その結果、B型利用者平均工賃についても、令和6年度の20,022円から令和7年度は28,200円へ引き上げることができた。

個々に合った就労先開拓

利用者一人ひとりの作業面・身体面・精神面を考慮した上で、企業見学や実習の提案を行った。就職面接会への参加や企業訪問等も積極的に実施し、実習・見学の機会確保に努めた。令和7年度はB型利用者からの就職希望もあり、本人と話し合いを重ねながら就職活動を進めた。

【提供作業】

	場所（内容）	R6 年度売上	R7 年度売上	増減
パン作業	パン製造・販売	5,606,270 円	5,939,295 円	333,025 円
菓子作業	焼き菓子製造・販売	10,754,137 円	12,541,972 円	1,787,835 円
下請け作業	箱折・梱包・ギフトラッピング作成 役場、企業受託作業	5,559,257 円	5,934,944 円	375,687 円
ランチ作業	昼食提供 ※R5 年 1 月に一旦終了	— 円	— 円	— 円
農作業	野菜販売	4,323,022 円	4,393,696 円	70,674 円
清掃作業	長泉町浄配水場・役場駐車場・ その他委託場所（草刈り 清掃 他）			
園芸作業	役場・清掃事業所・浄配水場・ その他委託場所（花壇管理）			
イベント	イベント販売等 （飲み物、ポップコーン 他）	84,658 円	205,980 円	121,322 円
その他	事故保険金収入	— 円	400,789 円	400,789 円
		26,327,344 円	29,416,676 円	3,089,332 円

【就労継続支援 B 型 利用者工賃】

	R6 年平均工賃	R7 年平均工賃	最高額	最低額
就労継続支援 B 型	20,022 円	28,200 円	159,223 円	170 円

【企業見学・実習先】

企業名	求職活動	実習	人数	備考
(株) 旭洋工業製作所	○		1 名	1 名採用 (R7.10.1 付)
三島ゴルフクラブ	○	○	1 名	
ハローワーク（就職面接会）	○		1 名	

②虐待防止・身体拘束の適正化への取り組み

毎月、事業所内において虐待防止会議を実施し、支援の中での不適切な対応等の確認を行うとともに、虐待防止に関する職員研修を実施した。事業所内における虐待および身体拘束事案はなかった。なお、虐待防止会議の内容については、法人内障害者虐待防止委員会にて共有を行った。

③ICT を活用した業務の効率化・省力化

ICT 記録システム（クラウドノート）を活用し、ケース会議や作業会議の議事録作成、面談時のケース記録作成を行った。また、職員会議における発言率の分析や、利用者支援時の職員の言葉遣いの振り返り等にも活用し、支援の質向上に努めた。記録入力や情報共有にかかる時間の短縮にも繋がり、業務効率化を図ることができた。生成 AI（ChatGPT）については、イベントポスターや商品シール等の画像作成、アンケート集計、依頼文書の作成、職員研修資料の作成等に活用した。特にアンケート集計や文書作成業務において作業時間の短縮に繋がり、業務負担軽減に効果が見られた。また、Instagram 投稿文やハッシュタグ内容の提案を受けながら SNS 発信を強化し、閲覧数の増加や事業所周知に繋がった。

その結果、SNS を通じた問い合わせや見学希望者の増加、焼菓子ギフトの注文増加にも繋がった。

また、利用者や来客者からの要望を受け、キャッシュレス決済（PayPay）を導入し、利便性向上を図った。

④第三者評価項目を活用し、定期的な自己評価を実施。

課題を明確化するとともに、支援内容や運営体制の改善を図る。

第三者評価項目に沿って自己点検を実施した結果、各種体制や仕組みについては整備されているものの、利用者・保護者・職員への説明が不十分である点が課題として挙げられた。そのため、年度当初に必要な説明を漏れなく実施できるよう、確認体制の整備を行った。

（２）人材に関する事

①外部・内部研修

- ・外部研修については、勤務年数や担当業務に応じた研修へ参加し、受講内容を職員会議にて報告・共有することで、他職員のスキルアップにも繋がった。
- ・内部研修については、虐待防止に関する内容を中心に、日々の支援に必要な研修を月 1 回程度実施し、支援の統一とスキルアップに努めた。また、動画研修を推奨し、職員が隙間時間を活用しながら受講できる体制づくりを行った。

【外部の研修】

月 日	研修名	参加人数	主催者
4/15	法人 HP ブログ・インスタ活用術	3	(株) ロケットスタート ホールディング
5/15	SNS 活用術	1	沼津信用金庫
6/2	イマドキ世代 (Z 世代) の育て方	1	静岡県 社会福祉人材センター
7/8	長泉町 福祉事業所防災研修	1	長泉町障がい者自立支援 協議会 事業所部会
8/26 9/11～12	福祉キャリアパス研修 (初任者)	1	静岡県 社会福祉人材センター
9/1	心の底から信頼される福祉職員になるために ～仕事・自分・人と向き合う～	1	静岡県 社会福祉人材センター
9/10	行動障害支援に役立つ「基本のコツ」	1	静岡県 社会福祉人材センター
11/10	静岡県工賃向上計画処理支援	2	静岡県 障害者政策課
12/11	仕事が必ずうまくいく!! 福祉分野におけるリーダーの 7 つの勘所	1	静岡県 社会福祉人材センター
12/5～19	福祉職員基礎セミナー はじめて福祉の仕事に就くあなたへ	1	静岡県 社会福祉人材センター
11/19 ～1/21	R7 年度障害児・者 福祉サービス事業者説明会	5	静岡県 福祉指導課
2/1	自閉症スペクトラム症に関する研修会	1	静岡県 自閉症協会
2/6	手話体験講座	2	長泉町 社会福祉協議会
合 計	13 件	21 名	

【内部の研修】

月 日	研修名	参加人数	講師
4/1	新年度 ほほえみ&みのり工房運営計画説明	15	施設長
4/22	感染症研修 (正しい手洗いの方法)	15	副主任
5/1	被評価者研修	2	動画視聴
5/22	評価者研修	4	動画視聴
5/27	SNS 活用セミナー法人内情報共有	4	保育園受講者より
6/3	感染症 BCP について	15	施設長
6/3	虐待防止セルフチェックについて	15	施設長
6/3	職場における熱中症対策について	15	主任
6/11	事業所BCP説明 (防災食、避難後の配置図)	15	副主任
6/18	熱中症対策	15	動画視聴
7/1	虐待防止法について	15	施設長
7/14～18	法人内施設間研修	1	ゆううん
7 月	法人内新任職員研修	4	動画視聴
8/5	AED 研修	15	アルソック

8/20	利用者誤嚥時対応について	15	動画視聴
8/21	食中毒について	15	保健所からの共有
8/27	権利擁護・成年後見制度について	15	施設長
9 月	被評価者研修 2	15	動画視聴
11/4	ハラスメントとは (ハラスメント実態アンケート配布説明)	15	施設長
11/26	感染症対策研修『嘔吐物処理方法』	15	動画視聴
12/24	障害者差別解消法について	15	施設長
1/6	ハラスメント実態・意識調査報告	15	施設長
3/27	評価者研修	4	施設長
合 計	23 件	274 名	

②業務、手順の明確化

各種業務の手順書を確認し、その都度状況に合わせた内容に更新した。

③納得感のある人事評価の強化

人事評価制度を活用し、職員一人ひとりの役割や目標の確認を行うとともに、面談を通して業務上の課題や困りごとの共有に努めた。評価結果についても丁寧なフィードバックを行い、職員自身が今後の成長や役割を意識できるよう支援した。また、評価者間で評価基準の確認や情報共有を行い、評価の偏りを防ぎながら、納得感のある評価体制づくりに努めた。

(3) 地域に関する事

特別支援学校や関係機関、地域住民等からの施設見学や学生実習、ボランティアの受け入れを積極的に行った。実際の作業や利用者の様子を見ていただくことで、障害福祉サービスへの理解促進に努めるとともに、地域との繋がりを深めた。

また、地域イベントや企業販売へ積極的に出店し、自主製品販売を通じて地域住民との交流を図った。事業所や利用者について知っていただく機会づくりに努めるとともに、利用を検討している本人や保護者に対しては、事業所での活動内容や働くイメージを具体的に持っていただけるよう説明を行い、安心して相談・見学ができる環境づくりに努めた。

①学生実習・施設見学、ボランティア等の受け入れ、地域住民との交流

【学生実習の受け入れ】

所 属 等	年間回数等	延べ人数	内容
長泉北中学校（支援級）	6 回	47	作業学習
沼津特別支援学校（高等部）	3 回	80	職場実習
御殿場特別支援学校（高等部）	2 回	15	職場実習
伊豆の国特別支援学校（高等部）	2 回	20	職場実習
東部特別支援学校（高等部）	1 回	1	職場実習
沼津特別支援学校愛鷹分校（高等部）	1 回	5	職場実習

小田原短大実習	1 回	20	保育実習
順天堂大学実習	2 回	24	施設実習
知徳高校	3 回	54	施設実習
静岡大学実習	1 回	5	教員免許取得のための実習
日本大学実習	2 回	15	教員免許取得のための実習

【施設見学の受け入れ】

所 属 等	年間回数	延べ人数	内容
伊豆の国特別支援学校 (中学部 生徒＋教員)	1 回	生徒 15＋ 教員 5	施設見学・説明等
沼津特別支援学校 PTA	1 回	29	施設見学・説明等
伊豆の国特別支援学校 PTA	1 回	35	施設見学・説明等
三島市民生委員・児童委員	1 回	19	施設見学・説明等
長泉町民生委員・児童委員	1 回	19	施設見学・説明等

【ボランティアの受け入れ】

所 属 等	延べ人数	内容
地域の方々	121	作業の手伝い
マムズ	20	作業の手伝い
令和の会（保護者会）	41	作業の手伝い
イオンフードサプライ	3	作業の手伝い

【地域への出店】

	行事名	回
4 月	鴻池販売 (2) 民生販売	3
5 月	鴻池販売 (2) モクカフェ販売 民生販売 シニアクラブグランドゴルフ大会販売	5
6 月	鴻池販売 (2) モクカフェ販売 シニアクラブフライングディスク大会販売	4
7 月	鴻池販売 (2) モクカフェ販売 民生販売 いずみんマルシェ販売 南一色区夏祭り販売 納米里区サマーフェスティバル販売 駿河平夏祭り（景品買取）	8
8 月	鴻池販売 (2) 長泉町事業所部会福祉フェア	3
9 月	鴻池販売 (2) モクカフェ販売 区民城山祭り シニアクラブスポーツ大会販売	5
10 月	鴻池販売 (2) 民生販売 モクカフェ販売 シニアクラブ輪投げ大会販売	5
11 月	鴻池販売 (2) 民生販売 モクカフェ販売 読書フェア販売 シニアクラブグランドゴルフ大会販売 下長窪区文化祭販売	7
12 月	鴻池販売 (2) モクカフェ販売 障害者週間（いずみんマルシェ）販売	4
1 月	鴻池販売 (2) 民生販売 日大イベント販売 (2)	5
2 月	鴻池販売 (2) モクカフェ販売	3
3 月	鴻池販売 (2) モクカフェ販売	3

②事業継続計画の有効性の検証、町内事業所間の協力体制整備

事業継続計画に沿った障害者施設合同訓練を実施し、計画内容の有効性検証を行った。訓練を通じて課題の確認を行い、事業継続計画の見直しや改善に繋げた。また、長泉町障がい者自立支援協議会事業所部会へ参加し、町内各事業所における事業継続計画の現状や課題について情報共有を行った。その中で、「計画は作成しているものの、実際の災害時に活用できるか不安がある」といった意見が挙げられたことから、長泉町地域防災課の協力のもと『福祉事業所防災研修』を実施した。研修では、発災時の町の動きや実際の被災地での状況等について共有を受け、各事業所における事業継続計画のブラッシュアップに繋げることができた。

町内事業所間の具体的な協力体制整備には至らなかったものの、災害時を想定した課題共有や連携の必要性について確認する機会となった。

(4) 経営管理に関する事

①利用者の通所率アップ（収入アップ）を図る

4月に新規利用登録者5名を受け入れたことに加え、平均利用人数が従来定員の34名を大幅に上回る状況が続いていた。また、令和8年度利用希望者についても4名の受け入れ予定があったことから、6月にB型定員を44名へ増員した。

その結果、延べ利用者数は前年度比861名増となり、利用人数を大幅に増やすことができた。

【通所内訳、前年度比較】

	定員	延べ登録者	平均利用者数	令和7年度 延べ利用者数	令和6年度 延べ利用者数	増減
就労移行支援	6名	9名	0.8名/日	201人	515人	▲314人 ※1
就労継続B型	44名※2	58名	40.9名/日	11408人	10547人	861人

※1→ 登録人数1名でスタート。

のべ登録者9名のうち、就労アセスメントの利用が7名であった。

※2→ 4, 5月は定員34名であったため、利用状況を踏まえ開所日数を調整。

6月以降は定員44名に変更。

②非常災害、感染症対策の強化

法人内障害事業所防災委員会は隔月、感染症対策委員会は毎月実施。

各事業所の防災訓練内容や感染症対応状況等の共有、法人内障害者施設の事業継続計画の見直しを行った。

【防災訓練実施内容】

	訓練内容		訓練内容
4月	災害伝言・スラック訓練	10月	障害者総合防災事業継続訓練
5月	送迎時連絡訓練	11月	煙体験
6月	BCP趣味レーション訓練 (BCP・防災倉庫・配置図確認)	12月	地震についての説明
7月	火災想定避難訓練 消火器場所確認	1月	通報訓練(消防署)
8月	AED研修	2月	火災想定避難訓練
9月	BCP訓練事前準備	3月	防災倉庫整理・点検 防災食購入

2、その他

(1) 利用者の状況

市町別登録人数等

令和8年3月31日付

【就労移行支援事業】定員6名 登録0名

【就労継続支援事業B型】定員44名 登録53名

	登録人数			年齢内訳				
	男	女	計	～19	20～29	30～39	40～49	50～
長泉町	21	17	38	5	4	5	6	18
裾野市	5	2	7	1	2		2	2
清水町	1		1		1			
伊豆の国市		1	1					1
三島市	2	1	3		2	1		
熱海市		1	1				1	
函南町	1		1		1			
沼津市	1		1					1
計	31	22	53	6	10	6	9	22

(2) 施設行事

①社会訓練

9月に実施。

4グループに分かれて外出を行い、公共施設での外食や買い物を通して、社会的なマナーやルールを学ぶ機会とした。

②季節行事

以下内容を実施。

利用者の気分転換や日々の作業へのモチベーション向上にも繋がった。

4月23日	健康イベント
7月7日	七夕イベント
8月19日	かき氷
10月28日	健康ハロウィンイベント
12月24～25日	クリスマス2daysイベント
1月8日	二十歳のお祝い
3月31日	1年お疲れ様会

3、施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

マネジメントカメラ修理	118,810円
焼菓子 脱気シーラー修理	58,773円
施設敷地内 樹木選定作業	44,000円
焼菓子厨房 食洗器配水ドレン改善工事	22,000円
計	243,583円

(2) 物品購入

焼菓子	脱気シーラー	1 台	156,508 円
事業用	非常食 各種	一式	88,113 円
事業用	非常用ポータブル電源	1 台	82,390 円
施設外	マキタ充電式草刈り機	1 機	80,278 円
下請け	作業用スタッキングスチールチェア 9 脚		70,520 円
事業用	日よけサンシェード、固定具等	一式	37,080 円
施設外	マキタ充電式ハンディソー	1 機	31,069 円
事業用	AI 文字起こし要約機 PLAUD Note	1 台	27,500 円
パ ン	日除け用 遮熱フィルム	一式	23,726 円
事業用	傘立て 24 本用	1 台	22,080 円
焼菓子	厨房作業台用 補強用ビニールクロス	1 枚	14,800 円
下請け	作業環境用テーブルクロス	4 枚	14,240 円
施設外	マキタ充電器用 バッテリー	1 個	6,529 円
ランチ	買い物用バッグ	2 個	5,738 円
事業用	熱中症対策黒球指数計	1 台	4,493 円
事業用	階段下ぶつかり防止クッションテープ	3 枚	330 円
			計 665,394 円

○ゆううん

1、目標に対する取り組み

(1) 支援に関すること

- ① 朝ミーティングや事例検討機会を活用し、多角的な視点から利用者を捉え、希望する生活にむけた提案をする。

事例検討会の実施には至らなかったが、毎朝のミーティングにおいて利用者支援に関する対応方法や社会資源・事業所情報について意見交換を行い、利用者の希望する生活に向けた支援提案につながるよう、多角的な視点での検討を行った。

R7 年度について、以下の通り対応。

苦情 1 件： コロナ禍の障害支援区分認定調査について感染予防のため電話対応とさせていただいたが、数年その不満を抱かせ続けてしまった。相談マネジメントレビュー会議の場で本件について取り上げる。親御さんへ不安な思いをさせてしまったことを反省し、今後イレギュラーなことが起きた際は丁寧な説明をしていく方向とした。

令和 6 年度 新規計画相談開始人数…45 人（契約内容報告書より）※以下は請求件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
計画作成	43	14	19	17	21	17	20	22	21	17	24	18	253
継続相談	42	36	62	38	26	25	43	37	51	47	35	52	494
地域定着	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
地域移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分調査	5	6	4	6	5	5	6	2	2	2	2	8	53

※地域定着：継続 1 名について、入院のため終了。支援中の緊急対応 2 件（体調確認）

※地域移行：R6 年度実施なし。

令和 7 年度 新規計画相談開始人数…45 人（契約内容報告書より）※以下は請求件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
計画作成	51	16	15	31	26	22	14	24	21	17	29	18	284
継続相談	36	25	66	49	49	42	44	27	60	39	31	44	512
地域定着	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	00
地域移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分調査	3	5	5	7	2	2	2	7	2	3	4	2	44

※地域定着：R7 年度実施なし。

※地域移行：R7 年度実施なし。

- ② 基幹相談支援センターとして長泉町障がい者自立支援協議会を活かした町内の虐待防止意識を高める取り組みをする。

長泉町障がい者自立支援協議会の部会において、虐待防止研修の取り組みについて

意見交換を実施した。

また、地域生活支援拠点に関する研修会を開催し、長泉町における地域生活支援拠点の仕組みを共有するとともに、「親なき後」や緊急時支援を地域全体で支える視点について学ぶ機会を設けた。参加者が支援を「我がこと」として捉え、虐待防止意識を高める機会となった。

■日程：令和8年2月10日（月）

■講師：基幹相談支援センターゆううん 渡邊礼子

■研修タイトル：基幹相談支援センター主催研修会

「地域生活支援拠点“ひとり”ではなく“地域”で支えるへ」

■参加者：町内事業所職員10名（オブザーバー：福祉保険課緒方氏）

③ ICTや有効なソフト等を活用し、相談業務に注力する時間を確保する。

＜活用実績＞

- ・ Google カレンダーを取り入れ、相談員の動きを可視化
- ・ Google レンズを活用した記録の効率化
- ・ Google フォームを活用した情報収集や集計
- ・ プラウドノートを活用した議事録、記録作成

④ 第三者評価を活用した相談業務の振り返りを行う。

相談支援は第三者評価者の対象外だが、毎月開催している相談マネジメントレビュー会議にて評価項目を取り上げ、福祉事業所に求められるものを振り返る機会をもった。訪問先の取り組み状況を把握することにも繋がる学びとなった。

（2）人材に関すること

① 参加目的を明確にした外部研修への参加と習得内容の共有により、支援力を向上させる。

参加目的を明確にした上で外部研修へ参加し、受講内容については相談マネジメントレビュー会議や朝ミーティング等で共有を行い、支援力向上に努めた。

参加実績

＜外部研修＞…計26件（延べ参加人数：39人）

例) 事業者説明会、相談支援従事者研修、医療的ケア児等コーディネーター研修、主任相談支援専門員フォローアップ研修、発達障害に関する研修、虐待防止に関する研修、防災に関する研修、精神保健福祉関係研修、就労選択支援研修 他

＜内部研修＞…計12件 主に自己研鑽項目の共有

例) リフレーミング、高次脳機能障害、脳性麻痺、メンタルヘルス関係

② SNSを活用し、相談業務を地域の方や学生へ伝え将来の人材確保を目指す。

ゆううんとしてInstagramとブログを月1回以上投稿した。

例) 新年度挨拶、相談員の日常、協議会行事、研修開催の様子 他
長泉町障がい者自立支援協議会の取り組みを、いずみのわInstagramにて投稿した。

例) ピア meets ピア in ながいずみ、介護分野との研修会、福祉フェア 他

- ③ 人事評価制度を正しく理解し、評価を納得することで個々が具体的目標をもち業務に取り組めるようにする。

個人目標の進捗状況を相談マネジメントレビュー会議で確認。

皆が達成できるよう互いに目標を把握・協力し、前向きに取り組むことができた。

(3) 地域に関すること

- ① 基幹相談支援センターとして地域からの相談窓口となり、横のつながりを築きながら地域で支える仕組みづくりをする。

※求められる 4 つの機能に対する取り組み

- ◆総合的・専門的な相談支援の実施
- ◆地域の相談支援体制の強化の取組
- ◆地域移行・地域定着の促進取組
- ◆権利擁護・虐待防止

＜基幹相談支援センターとしての具体的な取り組み結果＞

- ・長泉町重層支援室による定例会議およびケース検討会に出席
- ・長泉町社協主催の支援調整会議に出席
- ・長泉北小学校学校運営協議会に出席
- ・駿東田方圏域自立支援協議会運営会議・相談部会に出席
- ・法定研修における課題協力
- ・裾野市、清水町合同で、主任相談支援専門員による研修会を企画、開催
- ・基幹相談支援センター主催 地域生活支援拠点の研修会を企画・開催
- ・相談支援部会にて、介護分野との座談会を初開催。

■日程：令和 7 年 12 月 19 日（金）AM いずみの郷にて

参加者：町内ケアマネ 19 人 相談支援専門員 11 人

タイトル：介護・障害分野の座談会～お互いの業務を知ろう～

- ・相談支援部会にて、ピア meets ピア in ながいずみを 2 回開催

■日程：令和 7 年月 25 日（土）PM 防災センターにて

参加者：精神障害のある当事者、その家族、支援者 計 22 名

ピアの説明、体験談、フリートーク

■日程：令和 8 年 2 月 28 日（土）PM 防災センターにて

参加者：精神障害のある当事者、その家族、支援者 計 31 名

ピアの説明、インタビュー形式の体験談、フリートーク

- ・事業所部会にて、福祉フェアを開催

■日程：令和 7 年 8 月 23 日（土）10：00-13：00 いずみの郷 3F 集会室

参加者：33 組 80 人（当事者、家族、教育・福祉など関係者）

- ② 日々の業務や自立支援協議会の場で防災意識を高める取り組みを行う。

- ・事業所部会にて以下研修会を開催

■令和 7 年 7 月 24 日（火）

地域防災課による南海トラフ地震を想定した防災研修

(災害派遣にて現地支援にあたられた元自衛官の方の体験談を聴講)

■令和7年9月9日(火)

福祉保険課より災害時における町の動きについて講義

- ・長泉町社協で開催された災害シンポジウム(令和8年2月1日)受講内容を各部会で共有した。

長泉町障がい者自立支援協議会“いずみのわ”活動実績

会議名	開催回数	活動内容
全体会	1回(2月)	各部会活動報告 地域課題の検討 行政報告
運営会議	5回(全体会打合せ含)	各部会活動報告 課題検討 全体会打合せ SNSの活用について 日中サービス支援型グループホーム評価について 地域生活支援拠点について
子育て支援部会	5回	サポートファイル 福祉保険課からの情報共有 医療的ケア児支援 課題検討 情報交換 ミニ子育て支援部会
事業所部会	6回	事業所紹介・相談 課題検討・情報交換 防災研修 ミニ就労部会 ★福祉フェア開催(8/23)
相談支援部会	12回	事例検討 地域資源等情報共有 課題検討 ★ピア mees ピア開催(7/26・2/28) ★介護分野との研修会(12/19)
地域生活支援拠点プロジェクトチーム(行政主導)	2回(10/8・1/19)	拠点対象者の検討 運営状況の確認 地域生活支援拠点評価について

(4) 経営管理に関すること

- ① 業務効率化により予定月に特定相談を実施し、経営の安定化をはかる。

業務効率化に向けて効率化ツールの活用を開始した。特定相談については一部翌月へ持ち越すケースもあったが、新規依頼 20 件への対応および加算取得により、特定相談に係る収入は当初計画比で約 40 万円増加した。

- ② 報酬改定で明示された加算項目について、会議で実施結果を共有し法制度の理解と収益につなげる。

毎月実施している相談マネジメントレビュー会議において、報酬改定に伴う加算項目や算定要件を共有し、制度理解の促進と適切な加算算定に取り組んだ。

その結果、集中支援加算、居宅介護支援連携加算等を含む加算取得件数は 20 件となった。

2、その他

(1) 支援実績

相談件数 ※児童含む

	令和 6 年度	令和 7 年度
長泉町内 述べ件数	11969	12145
長泉町内 実人数	318	342

長泉町外の対応者：法人内事業所利用者、他 2 名

契約終了：42 名（転出、サービス終了、介護保険移行、他界 等）

新規契約：45 名（利用再開者含む）

主な相談内容 特定相談、委託相談、基幹相談すべて含む

	支援内容	令和 7 年度
①	福祉サービスの利用等に関する支援	5501
②	障害や症状の理解に関する支援	846
③	健康・医療に関する支援	939
④	不安の解消・情緒安定に関する支援	812
⑤	保育・教育に関する支援	453
⑥	家族関係・人間関係に関する支援	1076
⑦	家計・経済に関する支援	306
⑧	生活技術に関する支援	946
⑨	就労に関する支援	639
⑩	社会参加・余暇活動に関する支援	362
⑪	権利擁護に関する支援	204
⑫	その他	61

- ・1 人の相談者に対し 1 度に複数項目にまたがる支援を実施。
- ・債務整理、年金申請援助など家計・権利擁護に関する相談件数が増えた。

(2) 障がい者余暇支援事業 「ハッピーの㊦」（委託）

今年度も長泉町より受託し、年 7 回開催。延べ 121 名の方に参加いただいた。

<開催結果>

日時	行事内容	場所	参加費	参加人数
5月24日(土)	オリエンテーション	コミュニティながいずみ	無料	18
6月28日(土)	スポーツを楽しむ会	ウェルピアながいずみ	無料	10
7月12日(土)	ボウリング	商業施設	一部自己負担	16
9月20日(土)	バーベキュー	桃沢野外活動センター	一部自己負担	21
10月25日(土)	ハロウィンパーティー	ウェルピアながいずみ	一部自己負担	17
11月8日(土)	ワークショップ(クリスマスツリー作り)	コミュニティながいずみ	一部自己負担	19
12月13日(土)	ワークショップ(お正月飾り作り)	コミュニティながいずみ	無料	20

(3) 施設設備、工事計画および器具備品の計画

維持補修

- ・相談室ドア修理(鍵の設置)

※相談特化のソフトの導入…現在使用しているソフトを継続活用とした

物品購入

備品

<防災備品>

防災倉庫備品入れ替え(消毒液、乾電池)

○このはな保育園

1. 年間通しての取り組み

(1) 保育の質向上

- ① 少子化の加速度的な進行は止まらず、令和7年度には「こども未来戦略」に基づく加速化プランが本格始動し、保育・子育て支援への社会的な関心がかつてなく高まった。そうした時代の流れを受け、改めて「保育の質とは何か、その向上とはどのような状態を指すのか」を全員で問い続けた。昨年度に培った主体性へのフォーカスをさらに深め、子ども一人ひとりの内側から湧き出る意欲や探究心を大切にした保育の実践に努めた。会議や園内研修においても、昨年度の見直しを土台に、より対話的・実践的な形へと進化させ、日常保育との連動を強めた。本当に必要なものは継続して大切にしながら、新たな視点で保育を捉え直す姿勢を職員全体で共有した。保護者とは、目指す保育の方向性を丁寧に共有し続け、家庭と園が同じ方向を向いて子どもの育ちを支える関係をより深めることができた。また、ススミダスの園児との交流をさらに発展させ、異年齢・異文化の子ども同士が刺激し合い、互いの世界観を豊かに広げる保育を展開することに努めた。
- ② 上記に対応する個人スキルを高めるべく、外部研修に積極的に参加した。キャリアアップ研修をはじめ、静岡県保育連合会主催の研修、全国的な規模の研修など、今自分たちの求めるものにフィットした研修を選んだ。前年度に比べ職員数も増えたため、参加できた研修数も増加。また、オンデマンドの研修などに自己研鑽として参加する職員も相変わらず多く見られた。内部研修はおおよそ月に1度のペースで実施することができ、保育実践や振り返り、支援児対応、不適切保育等について充実した内容となった。全体的な計画や年間計画、月案、週案などの見直し、ペーパーレス化はこれまで同様継続中。
- ③ 子どもの主体性を引き出し、対話的な保育となっているか、また、計画は子どもの興味や発達に沿ったものになっているかを検討し、必要に応じ変更を行った。園内環境や園庭、果樹園の充実を図り、環境を通した保育を目指した。支援を必要とする園児には、ススミダスや行政、他市町村の療育機関と連携を図りながらの支援し、その子にとって最適な場所への接続を行うことができた。月に1度の職員会議では、

事前に課題や協議事項を明確にして時間の短縮を図り、クラス業務に充てる時間増と時間外労働削減に努めた。各クラスからの現状報告や保育の振り返りについては、ドキュメンテーションを用いて実施した。

- ④ マネジメントカメラを活用し、保育の振り返りや園児トラブルの検証を行った。園庭、果樹園のカメラも利用し、安全面の充実を図った。
- ⑤ ドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)での情報発信、「おうちえん」での動画配信を継続。『保育の見える化』を進めた。
- ⑥ ICT システムの活用や、業務の細かな分担、年次有給休暇の積極的取得により、働きやすい職場作りを推進。登降園チェックシステムを保育計画や振り返りにも活用した。集金は完全キャッシュレス。

(2) 人材の育成

- ① マニュアルや手順書を整理し、職員会議にて伝達した。細かな伝達、連絡は漏れをなくすために SLACK や動画を使用。
- ② 外部研修を積極的に受講し、そこで得た知識や情報は SLACK や毎月の職員会議で共有した。園内研修チームが中心となり、職員からのニーズを踏まえた園内研修も企画、実施した。
- ③ 園内研修や研修報告では、一方的な講義だけでなく双方向の意見交換の場も設けるなど、参加型の研修を取り入れた。

(3) 地域との連携

- ① 県内、隣県の保育士養成校との連絡を行う。新入職員採用試験への応募もあり採用内定となる。
- ② 長泉町役場こども未来課、その他の行政機関との連携は例年通り行った。学生の見学、実習受け入れになども積極的に実施した。
- ③ 南一色の夏祭りに、年長、年中が初めてこのはな保育園として参加。

(4) 安定した経営

- ① 光熱水費の無駄を省き、教材、教具、備品を細かく管理した。発注時期を決め、発注回数を減らし、管理のしやすさも求めた。
- ② 長泉町役場と連携を取り、4月の園児数104名から、年度末は108名まで受け入れを拡大した。

2. 実施した主な行事・活動

4月	1日 進級式（在園児） 3日 入園式（新入園児・保護者） 19日 新年度説明会
5月	8日 親子遠足（3歳以上児・まかいの牧場） 22日 内科検診（山本先生） 29日 歯科検診（米山先生）
6月	1日 衣替え 6日 交通教室 20日 オープン参観
7月	1日 交通教室 7日 七夕のつどい（全園児参加） 26日 このはな夏祭り
8月	2日 わくわくまつり 12日～ 希望保育実施（5日間）
9月	1日 防災引渡し訓練 11日、17日 一斉園見学の日
10月	11日 このはな運動会 27日
11月	13日 内科検診（山本先生） 14日 華道家美榮さん来園 17日 焼き芋大会 21日 祖父母参観会
12月	6日 生活発表会 12日 もちっこ会（もちつき） 19日 クリスマス会 29日～ 冬季休園
1月	～4日 冬季休園 5日 新年の集い
2月	2日 節分の集い 10日 オープン参観 27日 修了写真撮影
3月	3日 入園説明会 14日 年度末活動報告会 27日 修了式 23日 卒園式

3. 毎月実施した行事

身体測定 誕生会 お弁当の日 避難訓練

4. 園児数推移

	ひかり	ほし	たいよう	にじ	つき	そら	計
	(0歳児)	(1歳児)	(2歳児)	(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)	
4月	7	15	19	21	21	21	104
5月	9	15	19	21	21	21	106
6月	9	15	19	21	21	21	106
7月	9	15	19	21	21	21	106
8月	10	15	19	21	21	21	107
9月	11	15	19	21	21	21	108
10月	11	15	19	21	21	21	108
11月	11	14	19	21	21	21	107
12月	11	14	19	21	21	21	107
1月	12	14	19	21	21	21	108
2月	12	14	19	21	21	21	108
3月	11	15	19	21	21	21	108

5. 保護者(家庭)との連携

- ① 園だよりの発行。(月に1回以上、webにて)
- ② クラスだよりの発行。(月に1回以上、必要に応じ随時、webにて)
- ③ 連絡帳(アプリ Kidsly)でのやりとり
→0.1.2歳児:園での様子などを毎日記入、家庭での様子も毎日把握した。
→3.4.5歳児:必要に応じ記入し、家庭からも同様に使用していただいた。
- ④ 緊急連絡、お知らせ、重要事項の確認などもキッズリーにて行った。
- ⑤ ブログの更新、Instagram、クラス単位でドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)を配信。

6. 延長保育利用実績

①18時以降の利用は延長保育とした。

②利用料金 18時～18時29分 → 200円

18時30分～19時 → 500円

③ 利用人数は延べ853人。延長料金は年間で209,900円であった。

7. 一時預かり事業

(1)利用人数は延べ388人。利用料金は年間で808,800円であった。

8. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の維持補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備考
厨房	27,500	厨房機器交換時に附属する ガス工事
階段,保育室,玄関,廊下	70,400	階段踏板補強,戸車取替工事, 玄関引戸調整,網戸部品交換
保育室	12,100	手洗器水栓修理工事
保育室	11,000	コンセント取替工事
保育室	11,000	戸車取替工事
保育室	5,000	おけだま(玩具)修理
保育室	15,400	2F 幼児用トイレ・タンク修理工事
保育室	20,900	壁紙貼替
正面玄関	19,800	正面出入口伸縮門扉レール 再固定工事
園庭	44,000	外流し水栓取替工事
園庭	77,000	芝回復作業
園庭	59,400	芝回復作業

(2) 物品購入

①非常災害備蓄用水	15箱	69,975円
②害虫駆除用ペーパーリキッド	2本	39,600円

・固定資産

① デュシマピラミッドⅡ	1 台	364,000 円
② 木製給食展示ケース	1 台	107,800 円

・器具備品

① ゴザシート	3 枚	19,272 円
② 砂場玩具	1 セット	14,420 円
③ フリオルアントポート	1 セット	39,710 円
④ 洋風ままごと	1 セット	45,670 円
⑤ 野菜果物ままごとセット	1 セット	12,020 円
⑥ ままごとセット	1 セット	10,400 円
⑦ デュプロ動物	1 セット	22,500 円
⑧ 精密体重計 WB-150	1 台	60,500 円
⑨ スタックスピソ	1 セット	10,000 円
⑩ 吸水マット	3 枚	33,000 円
⑪ 背板付棚 YS-48	5 個	173,000 円
⑫ おもちゃ棚 3 段	2 個	79,680 円
⑬ 黒球式熱中症指数計	2 個	21,226 円
⑭ Bブロックビルディング	2 個	34,000 円
⑮ Bブロックベース	1 個	18,700 円
⑯ 木製乳児椅子	1 個	19,800 円
⑰ プラウトノート本体	1 個	27,500 円
⑱ 拡声器	1 個	15,675 円
⑲ 掃除機紙パック式	2 台	39,600 円
⑳ ホースリール 50m	1 台	19,470 円
21 レゴブロック	1 セット	14,091 円
22 昆虫・植物図鑑	8 冊	18,800 円
23 折り畳み防災マット	1 枚	24,200 円
24 折り畳みハイ椅子	15 脚	68,850 円

○悠雲の家およびアネックス悠雲の家

1. 目標に対する取り組み

(1) 支援に関すること

- ① 満足度アンケートの結果から一人でも外食に行けるようになりたいと声が多く上がったので、外食訓練を行い一人での外出の機会が増えるようにしていく。その他生活面でも、利用者の希望を実現させる為利用者個々の思いに寄り添う。

- 一人では外食に対して不安があるという声も上がったので沼津ららぽーとと清水町サントムーンで外食訓練を実施した。

〈アンケートから実施したイベント〉

4月17日	4月誕生会	8月21日	8月誕生日会
4月20日	明大マンドリン演奏会	12月24日	クリスマス会・12月誕生日会
5月15日	5月誕生会	2月5日	外出（ららぽーと沼津）
6月12日	6月誕生会	2月19日	2月誕生日会
6月28日	外食訓練（サントムーン）	3月26日	3月誕生日会

〈利用者状況〉

利用者	年齢	程度	勤務先	給料（月額）	年金額	出身地
A（女）	77	中度	ほほえみ&みのり工房	18,000 円	65,000 円	長泉町
B（女）	42	軽度	旭洋工業	140,000 円	65,000 円	三島市
C（女）	40	軽度	さつき園	155,000 円	65,000 円	熱海市
D（女）	79	中度	からふる工房 おかのみや	20,000 円	65,000 円	長泉町
E（女）	45	軽度	ほほえみ&みのり工房	27,000 円	65,000 円	熱海市
F（女）	65	中度	ほほえみ&みのり工房	15,000 円	65,000 円	裾野市
G（女）	70	中度	ほほえみ&みのり工房	18,000 円	85,000 円	長泉町
H（男）	56	軽度	あおぞらワーク	35,000 円	65,000 円	清水町
I（男）	60	軽度	ジョブカレッジ	60,000 円	65,000 円	裾野市
J（男）	39	軽度	鴻池運輸	150,000 円	65,000 円	長泉町

平均年齢 57.3 歳

- 7月に、母親と二人暮らしをされていた64歳の女性について、母親が倒れたことで突然一人暮らしとなり、生活の継続が困難な状況となったため、急遽受け入れを行った。本人の不安や環境の変化に配慮しながら、日常生活全般について寄り添った支援を継続して実施した。その後、2月頃より店舗での盗品行為が続く状況が見られたため、本人とも繰り返し話し合いを行い、今後の生活を安心して継続できる環境を検討した。結果として、より継続的な支援体制が必要であると判断し、悠雲寮の入所施設へ移行することとなった。

② 地域連携推進会議を開催して地域との関係を作り、サービスの透明化・質の確保を行って利用者の権利擁護・虐待防止につなげる。

- ・7月9日に地域連携推進会議を実施し、利用者、ご家族、後見人の皆様をはじめ、地域の方々（区長・民生委員）、役場保健福祉課、社会福祉協議会の方々に参加いただいた。会議では、施設の運営状況の説明や意見交換、施設内見学を行い、施設での生活や日頃の取り組みについて理解を深めていただく機会となった。
- ・利用者の権利擁護や虐待防止に向けた取り組みについても説明を行い、地域の方々と共通理解を持つことができた。外部の方々に実際の施設の様子を見ていただくことで、サービスの透明性を高めるとともに、地域とのつながりを深め、安心して利用できる環境づくりにつなげることができた。

③ 緊急時、利用者との連絡手段を確保するために、スマートフォンやラインアプリなどを利用者が正しく使えるように支援する。

- ・防災訓練やBCP訓練の際に利用者への連絡手段について検討を行った。
またスマートフォンを持っている利用者に対して、担当の世話人と一緒に使い方を確認し合った。疑問点などは会議でその都度検討をした。

④ 第三者評価項目を活用した定期的な自己評価を実施し、課題を明確化するとともに、支援内容や運営体制の改善を図る。

- ・毎月の会議で課題検討を行なった。検討をする事で統一した支援につながる事ができた。

(2) 人材に関すること

① 必要な外部研修を受講するとともに、毎月の会議内で世話人に対しての内部研修を充実させる。

外部の研修

月 日	研修名	参加人数	主催者
10/29	サービス管理責任者更新研修（講義）	1	静岡県
11/5,11/6	静岡県知的障害者福祉協会研修	2	静岡県
11/12,11/13	サービス管理責任者更新研修（演習）	1	静岡県
11/19	主任・管理者の為のメンタルヘルス講座	1	静岡県
1/21	令和7年度サービス事業者説明会	1	静岡県
2/6	令和7年度権利擁護シンポジウム	1	東京都

内部の研修

月 日	研修内容	参加人数	講師
5月2日	虐待防止規程について	4	木村
5月23日	セルフチェックリスト・感染症BCPについて	4	木村
6月28日	手洗いについて、虐待防止への理解	4	木村
7月29日	食材管理について	4	福田栄養士
8月27日	権利擁護・成年後見について、血液感染について	4	木村
9月27日	手洗いについて（2回目）	4	木村

11月26日	静岡県知的障害者福祉協会研修について報告	4	下山統括施設長
12月24日	差別解消法について、手指衛生について	4	木村
1月28日	吐しゃ物の処理について	4	木村
3月30日	運営計画等について	4	木村

② 世話人が安心して働けるように困りごとや悩み事を日々のコミュニケーションや会議で話し合い、改善に努める。

- ・GH会議（年12回）の中で、困りごとや改善すべき点について話し合いを行い、必要に応じて助言や支援を行うことで、大きな問題なく業務を進めることができた。
- また、年2回の個別面談を実施し、世話人一人ひとりの思いや状況を丁寧に確認することで、安心して働ける環境づくりにつなげることができた。

③ 人事評価制度を正しく理解するために、評価者・被評価者ともに研修を受ける。コミュニケーションを充実させ、納得感の高まるフィードバックの場を提供する事で評価の納得感を高める。

- ・毎月の会議後に評価者と被評価者で面談を実施した。
- 目標に対しての進捗状況の確認を行いながら必要に応じて助言をし、目標達成することができた。

(3) 地域に関すること

① 毎月の奉仕活動の実施や地域のイベントへ参加を通して地域との関わりを深めていく。

- ・月に1回、施設周辺や公園の清掃奉仕活動を継続して行った。
- 地域の方々からも声を掛けられることが増え、地域との交流につながった。

② マニュアルの見直しや改善を行いながら、事業継続計画に沿った訓練の実施、防災備品の確認を行って災害に備える。

- ・6月と10月の2回、事業継続計画（BCP）に沿った訓練を実施した。訓練では、災害時を想定した利用者との連絡手段の見直しや検討を中心に行い、緊急時の対応方法について確認を深めることができた。また、世話人とのマニュアル確認や、利用者のみでの避難訓練も実施し、実際の場面を意識した取り組みにつなげることができた。
- ・2か月に1回開催される法人内障害者防災委員会（年6回）に参加し、各事業所における課題や訓練方法について意見交換や検討を行った。あわせて、防災会議（年12回）では、防災委員会での内容の共有や備品の確認・見直しを実施した。今年度は、利用者用のテントや寝袋などの備品を整備し、災害時への備えを進めることができた。
- ・毎月のGH会議の中で感染症対策会議を実施し（年12回）、GH内での感染症対策の見直しや課題の共有を行った。会議で挙げた課題については、法人内障害者感染症対策委員会に報告し、法人全体で検討を重ねた。委員会で共有された内容については、再度GH内の感染症対策会議で職員へ周知し、感染症対策の徹底を図った。こうした継続的な取り組みにより、今年度は感染症の集団感染を防ぐことができた。

- ③ 地域連携推進会議の開催に向けて検討し、令和 7 年度から実施できるようにする。
- ・近隣施設からの情報収集や、関係者との調整等を行い、7/9 に開催することができた。初めて施設内を見学された方も多く、施設での生活や取り組みについて理解を深めていただく良い機会となった。また、地域とのつながりを改めて感じる有意義な会議となった。
 - ・会議録については情報公開システム WAM ネットにて公表した。

(4) 経営に関すること

- ① 会議内で水光熱水費や食費についての確認を行い、無駄な支出がないようにする。
- ・毎月の会議内で光熱費の確認をして、使い過ぎを防ぐことができた。
 - ・夏や冬にはエアコン使用時は効率よく換気できるよう利用者へアドバイスをした。それにより、昨年度よりも電気や水道の使いすぎがなかった。
- ② 近隣施設との連携を図りながら必要な報酬体系や加算等の要件を確実に確認し、安定した経営を目指す。
- ・近隣の施設との情報交換を通して漏れがないように申請を行うことで、継続して安定した経営状況につながった。

2、その他

(1) 健康管理

- ・日常の定期通院などは個別に声掛けを行い、忘れずに通院できるようにした。一人では受診が難しい利用者については必要に応じて、世話人が同行（有料サービス）した。
- ・感染症対策をしっかりと行い、インフルエンザやコロナウイルスの感染はなかった。

(2) 家族との関係

- ・必要に応じて家庭に連絡を実施した。
- ・帰省については実施することで利用者や家族も喜んでいた。

3、施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

(単位：円)

補修箇所	支出費	備 考
302 号室、306 号室エアコン取替	363,000 円	固定資産登録
301 号室キッチン排水詰まり修理	35,200 円	
302 号室ユニットバス交換工事	1,408,000 円	
306 号室洗面化粧台水栓取替工事	44,000 円	
307 号室ブレーカー工事	26,400 円	
計	1,876,600 円	

(2) 物品購入

・防災備品

備蓄用トイレトペーパー	4,050 円
寝袋 (13 人分)	35,074 円
アウトドアテーブル	9,960 円
タープテント	32,298 円

〇スミダス

1. 令和年7度目標 に対する取り組み

(1) 園児・保護者に関すること

- ① 児童発達支援ガイドライン・放課後等デイサービスガイドラインに示されている5領域に基づく支援プログラムを作成し令和7年4月に法人ホームページに公表した。
- ② 子ども一人ひとりにアセスメント(主に太田ステージ)を実施するとともに医療機関の発達検査等を根拠に、子どもが安心して過ごせるよう子どもの個性、発達特性を尊重した活動に取り組んだ。
- ③ 実施した療育の振り返り、考察、反省をアプリ内(HUG)で管理するとともに、担当職員でサポート会議を実施し個別支援計画の作成や日々の支援につなげることができた。
- ④ ICTを用いた教材「KitS・ここのび」に加え「Keezle」(キーズル)を導入し、子どもの社会性を育む活動に取り組むことができた。
- ⑤ 事業所自己評価を保護者、職員共に2月に実施。保護者の回答率は児童発達支援 55.6%、放課後等デイサービス 85.7%であった。令和6年度の回答率より多くの回答が得られたが、今後も回答を得られるよう工夫が必要である。
- ⑥ 保護者との連絡や出欠席管理等、負担を最小限にし、連絡帳アプリ(キッズリー・HUG)を利用したお便り配布を行うことができた。
- ⑦ 保護者交流会を児童発達支援5回(7,9,10,1,2月)、放課後等デイサービス1回(11月)実施。就学や福祉サービス利用、子育てについて話し合う場を設けた。保護者から「参加してよかった」「また開催してほしい」という声が多く寄せられた。
- ⑧ マネジメントカメラを活用し、療育の振り返りや、ヒヤリハットの検証など、スキルアップや全体のリスクマネジメントを図ることができた。
- ⑨ キャッシュレス(エンペイ)を継続活用し、職員、保護者双方の負担軽減を図ることができ、未払いの発生もなかった。

(2) 人材の育成

- ① 法人のサービス品質マニュアルに沿い、各種マニュアルや手順書の作成に取り組んだが引き続き改善・更新が必要な状況である。
- ② 外部研修や web 研修に積極的に参加し、そこで得た新たな情報、知識は、書面や会議内で周知した。また第 22 回静岡県小児摂食嚥下勉強会にて日々の実践の取り組みを発表した。

(主な外部研修)

事業者説明会(集団指導)・相談支援従事者初任者研修・サービス管理責任者等基礎研修・ファシリテーター養成研修・虐待防止-権利擁護研修・強度行動障害基礎研修

(主な内部研修)

評価者-非評価者・規定-マニュアル等

- ③ 職員会議内で以下の内部研修を実施した。
虐待防止-身体拘束の適正化(12 回)・感染症(4 回)・業務継続計画(1 回)・安全管理(12 回)
- ④ one 人事を活用し、職員それぞれの層やスキルにあった目標設定を徹底するとともに、退勤前に職員間でコミュニケーションをとる時間を設けストレスや悩みの軽減に努めた。
- ④ 保護者への連絡は、その種類によってアプリ(キッズリー・HUG)を活用した。

(3) 地域との連携

- ① Instagram で給食メニュー画像を毎日、活動の様子を月に 2 回以上投稿した。新規利用の保護者が「給食の様子がわかって安心」「活動の内容を見ることができてよかった」と声を寄せてくださった。
- ② 学生の保育実習を 2 名受け入れた。また長泉町特別支援研修の講師を職員が務めた。相談支援事業所、子どもが通う地域の園との連携も随時実施、保護者の安心につなげることができた。
- ③ 非常災害対策の強化
 - ・地震、火災等の想定される非常災害に対する具体的計画(マニュアル)を見直したが今後も改善・更新が必要である。
 - ・災害時にもサービス提供を継続するための体制を整えるため事業継続

計画（BCP）の研修・訓練を実施、内容の見直しを図った。

- ・安全管理の研修計画に沿い、毎月避難訓練を実施した。
- ・10月31日(金)消防通報訓練・保護者引渡し訓練・職員消火訓練を実施した。
- ・遊具備品点検を月に2回、園舎内外点検を月に1回実施した。

(4) 安定した経営

- ① 子どもの体調や活動に支障がない範囲で光熱水費の節約に努めた。
- ② 教材、教具、備品の使い方をよく検討し、対象物品について複数の業者の価格を比較した。
- ③ 長泉町役場（福祉保険課・子ども未来課・健康増進課・教育推進課）と連携を取り、地域のニーズ、入退所数、入園希望者数などに関して随時情報を交換し、利用者数を維持することができた。

【令和7年度利用児数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	一日平均数(人)
児童発達支援	延べ人数	544	555	578	554	475	545	614	486	512	524	465	499	6351	26.35
	実人数	35	39	40	35	37	39	38	37	39	38	38	42	457	
放課後等デイ	延べ人数	59	57	65	62	45	61	53	41	50	49	48	61	651	2.69
	実人数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84	
保育所等訪問	延べ人数	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4	7	
	実人数	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4	7	

2. 実施した主な行事

- ・身体測定、避難訓練は毎月実施した。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
28日お弁当の日	24日 新年度説明会 22日 内科検診 29日 歯科検診	特になし	2日 保護者交流会	13～15日 お弁当の日	特になし
10月	11月	12月	1月	2月	3月
10日 保護者交流会 31日 保護者引渡し訓練	13日 内科検診	25, 26日 お弁当の日	5日 お弁当の日	2日 保護者交流会	30日 卒園式 31日 休園日 (新年度準備)

3. その他

①利用児の状況

【令和8年3月31日】

	児童発達支援	放課後等デイ	保育所等訪問支援	ライフサポート	合計
長泉町	35	6	4	7	52
沼津市	2	0	0	0	2
裾野市	2	1	0	0	3
三島市	1	0	0	0	1
函南町	2	0	0	0	2
合計	42	7	4	7	60

②保護者(家庭)との連携

- ・連絡帳アプリ（キッズリー、HUG）を用い、活動内容、給食喫食状況、午睡、排泄等を入力し画像も添付して保護者に伝達した。
- ・支援計画を説明する面談を年3回実施するとともに、各家庭の状況、子どもの育ちに応じて随時面談を実施した。

③給食

- ・アレルギー献立表のチェックを家庭とともに行うとともに卵アレルギーに対応する献立を導入。安全な給食提供を行うことができた。

4. 施設設備の補修及び器具備品の購入等

(1) 施設設備の補修

厨房給気ダクト延長修理工事	245,300 円
PHS 増設工事	220,000 円
玄関鍵取り付け、ロールスクリーン工事	84,590 円
公用車セレナ：タイヤ交換(4本)	95,000 円
施設内 Wi-Fi 増設工事	212,080 円
遊戯室 間仕切り設置工事	261,580 円
施設内 各所扉上部への鍵設置補修工事	233,860 円
受水槽周り漏水修理	22,000 円

(2) 物品購入

・器具備品	
ジョイントマット	87,120 円
厨房：両面砥石、料理鍋、フードプロセッサ(各1)	63,250 円

モバイルプロジェクター	49,990 円
ビーズクッション (3 個)	21,588 円
充電草刈り機 (1 台)	35,800 円
わんぱく自転車 M (1 台)	55,000 円
チェアーフローリア (10 脚)	132,000 円
木枠ホワイトボード (1 個)	59,400 円

・固定資産

防災倉庫購入・設置	617,540 円
駐車場新設工事	2,999,700 円